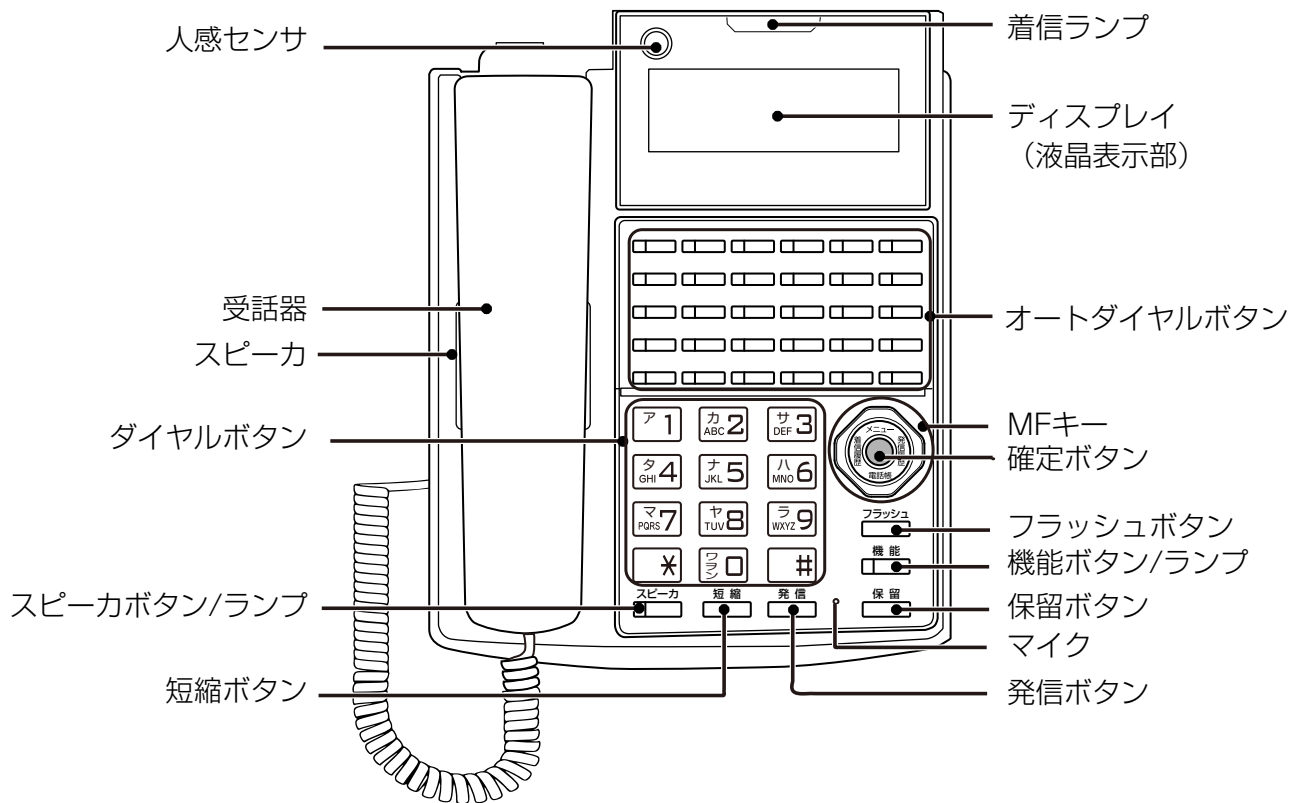


●詳しくは、取扱説明書をご覧ください。
























































(※) 上図は、30個のオートダイヤルボタンを持つ機種種の絵です。  
18個のオートダイヤルボタンを持つ機種種もあります。  
2つの機種種の使いかたは同じです。

- 特番をダイヤルする箇所には、[ ] 欄を設けていますので、実際にご使用になる特番をご記入ください。
- 特番については販売店にお問い合わせください。

音量の調節	
	音が小さくなる     音が大きくなる
受話音量を調節する	通話中に  で音量を調節できます。
スピーカ受話音量を調節する	スピーカ受話中にスピーカからの音量を  で調節できます。
着信音量を調節する	着信中に  で音量を調節できます。 ● 一般系着信(一般着信、MSA 着信、DGL 着信)のときは、この方法では調節できません。 待受中に調節するには (確定) →  [8:音設定] →  [1:着信音量] → 着信音量の種類 →  で音量を調節 → (確定) ● 一般ユーザ電話機の場合には、(確定) のあと、 [7:音設定] を選択します。 ● 着信音量の種類は、[1:外線着信音量]、[2:内線着信音量]、[3:ドアホン着信音量]、[4:話中着信音量] から選択します。

外線		
電話をかける	受話器を取ってかける	 → <b>発信</b> 、《自動選局特番[                    ]》、または ランプが 消灯している  (外線) → 電話番号 → <通話> →  <ul style="list-style-type: none"> <li>●  (ワンタッチボタン)、<b>短縮</b> などを押して電話をかけることもできます。</li> </ul>
	電話番号を確認してからかける (プリセットダイヤル)	電話番号 → <b>発信</b> 、または ランプが 消灯している  (外線) → 相手の応答する 声聞こえたら  → <通話> →  <ul style="list-style-type: none"> <li>● 電話番号を間違えたときは <b>フラッシュ</b> を押すと一文字ずつ消すことができます。</li> </ul>
	最後にかけた相手にかけ直す (リダイヤル)	 →  (リダイヤル)、または <b>短縮</b>  <b>#</b> → <通話> →  <ul style="list-style-type: none"> <li>●  (リダイヤル) はあらかじめ登録しておく必要があります。</li> <li>●  (外線) を押してから  (リダイヤル) を押すと、回線指定して電話できます。</li> </ul>
電話を受ける	<着信音> →  → 点滅している  (外線) → <通話> →  <ul style="list-style-type: none"> <li>●  (外線) は初期設定で割り付けられています。</li> <li>● オフフック外線自動応答が設定されている場合は、 (外線) を押さなくても通話できます。</li> </ul>	
保 留	外線を一時的に保留する (一時保留)	<b>保留するとき:</b> <通話中> → <b>保留</b> → <保留状態> →  <b>通話に戻るとき:</b> <呼び返し> →  → <通話>
	他の電話機で取れないように保留する (自己保留)	<b>保留するとき:</b> <通話中> →  (自己保留) →  <b>通話に戻るとき:</b> 点滅している  (自己保留) →  → <通話> <ul style="list-style-type: none"> <li>●  (自己保留) は初期設定で割り付けられています。保留した自分の電話機でのみ再応答できます。</li> </ul>
	システムの中で取れるように保留する (システム保留)	<b>保留するとき:</b> <通話中> → <b>保留</b> →  <b>通話に戻るとき:</b> 点滅している  (外線) →  → <通話> <ul style="list-style-type: none"> <li>● システム内の他の電話機から再応答できます。</li> </ul>
	パークグループの中だけで取れるように保留する (パーク保留)	<b>保留するとき:</b> <通話中> →  (パーク) →  <b>通話に戻るとき:</b> 保留に使用した  (パーク) →  → <通話> <ul style="list-style-type: none"> <li>● パークグループ内の他の電話機からも再応答できます。</li> <li>●  (パーク) はあらかじめ登録しておく必要があります。 <b>工事設定</b></li> </ul>
転 送	口頭で取り次ぐ	<b>転送する人:</b> <通話中> → <b>保留</b> →  → 口頭で呼びかけて用件を伝える  <b>転送を受ける人:</b>  → 点滅している  (外線) または  (パーク) → <通話>
	転送先と通話してから転送する (ダイヤル転送)	<b>転送する人:</b> <通話中> → <b>保留</b> → 転送したい人の電話番号 → <通話> → <b>フラッシュ</b> → 
	一斉・特定のグループを音声で呼び出して転送する	<b>転送する人:</b> <通話中> → <b>保留</b> → 《内線グループ音声呼出特番[                    ]》 → 内線グループ番号 → 音声で呼び出す → <内線通話> (相手が応答した場合) → <b>フラッシュ</b> →  <b>内線グループ番号:</b>    ~  <b>1</b>  <b>カ</b>  <b>2</b>  <b>マ</b>  <b>7</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● グループに所属する内線電話とグループ番号はあらかじめ登録しておきます。 <b>工事設定</b></li> <li>● 初期設定では、グループ番号 000 には、すべての内線電話が登録されています。</li> </ul> <b>転送を受ける人:</b> <音声呼出> →  → 《内線グループ音声呼出応答特番[                    ]》 → 内線グループ番号 (呼び出されているグループの番号) → <内線通話> → 転送する人が <b>フラッシュ</b> → <通話>

内線		
電話をかける	内線を呼び出す (内線トーン(信号)呼出)	 → 内線番号 → <通話> →  <ul style="list-style-type: none"> <li>● 内線番号のあとに  を複数回押すたびに、音声での内線呼び出しと着信音での内線呼び出しを交互に切り替えることができます。</li> <li>● 受話器を上げると自動的に外線に発信する設定(オフフック自動外線捕捉)を行っている場合、オフフックの前に  を押します。</li> <li>●  (内線 DSS) にあらかじめ内線番号を割り付けておくとボタン 1 つで呼び出すことができます。</li> </ul>
	音声で呼び出す (内線音声呼出)	 → 内線番号 →  → 呼びかける → <通話> →  <ul style="list-style-type: none"> <li>● 内線番号のあとに  を複数回押すたびに、音声での内線呼び出しと着信音での内線呼び出しを交互に切り替えることができます。</li> </ul>
	内線番号を確認してからかける (プリセットダイヤル)	内線番号 →  → 相手の応答する音が聞こえたら  → <通話> →  <ul style="list-style-type: none"> <li>● 電話番号を間違えたときは  を押して削除してください。</li> </ul>
	最後にかけた相手にかけ直す (リダイヤル)	 →  (リダイヤル) → <通話> →  <ul style="list-style-type: none"> <li>●  (リダイヤル) はあらかじめ登録しておく必要があります。</li> </ul>
電話を受ける	<着信音または音声(着信ランプ点滅)> →  → <通話> → 	
保 留	内線を一時的に保留する (一時保留)	保留するとき:  → <通話中> →  → <保留状態> →  → <呼び返し> →  → <通話> 通話に戻るとき:
	他の電話機で取れないように保留する (自己保留)	保留するとき: <通話中> →  (自己保留) →  通話に戻るとき: 点滅している  (自己保留) →  → <通話> <ul style="list-style-type: none"> <li>●  (自己保留) は初期設定で割り付けられています。保留した自分の電話機でのみ再応答できます。</li> </ul>
	パークグループの中だけで取れるように保留する (パーク保留)	保留するとき: <通話中> →  (パーク) →  通話に戻るとき: 保留に使用した  (パーク) →  → <通話> <ul style="list-style-type: none"> <li>● パークグループ内の他の電話機からも再応答できます。</li> <li>●  (パーク) はあらかじめ登録しておく必要があります。 <b>工事設定</b></li> </ul>
転 送	口頭で取り次ぐ	転送する人: <通話中> →  または  (パーク) →  → 口頭で呼びかけて用件を伝える 転送を受ける人:  → 点滅している  (パーク) → <通話> <ul style="list-style-type: none"> <li>●  (パーク) はあらかじめ登録しておく必要があります。 <b>工事設定</b></li> </ul>
	転送先と通話してから転送する (ダイヤル転送)	転送する人: <通話中> →  → 転送したい人の内線番号 → <通話> →  → 
	一斉・特定のグループを音声で呼び出す	 → 《内線グループ音声呼出特番[                      ]》 → 内線グループ番号 → 音声で呼び出す → <内線通話> (相手が応答した場合) →  内線グループ番号:    ~     <ul style="list-style-type: none"> <li>● グループに所属する内線電話とグループ番号はあらかじめ登録しておきます。 <b>工事設定</b></li> <li>● 初期設定では、グループ番号 000 には、すべての内線電話が登録されています。</li> </ul>
受ける (呼び出しに答える)	 → 《内線グループ音声呼出応答特番[                      ]》 → 内線グループ番号 (呼び出されているグループの番号) → <内線通話> → 	

不在時の設定	
自動転送	不在時の転送を設定する <input type="checkbox"/> (不在) →  で不在理由を選択 → <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> (不在)はあらかじめ登録しておきます。</li> <li>不在理由は、9種類(1: 外出中、2: 会議中、3: 来客中、4: 食事中、5: 出張中、6: 休暇中、7: 帰宅、8: 直帰、9: 直行直帰)の中から選択できます(初期設定の場合)。</li> </ul>
	不在時の転送を解除する → 《不在特番[ ]》 → <input type="checkbox"/> (不在解除) → 点灯(赤)している <input type="checkbox"/> (不在)
	不在時の転送先を設定する → <input type="checkbox"/> [4: 転送設定] → <input type="checkbox"/> [1: 不在転送設定] → 内線番号 (不在転送を設定する内線電話機を指定) → 着信種別 → 転送先種別 → 転送先の電話番号 → <ul style="list-style-type: none"> <li>着信種別は、[1: 内線着信転送]、[2: 外線着信転送]、[3: 専用線着信転送]、[4: 発番号別転送]、[5: 不在転送一括設定] (すべての着信に対して同じ転送先を設定)から選択します。</li> <li>転送先種別は、[1: 内線転送]、[2: 外線転送]、[3: 内線代表転送]、[4: DGL グループ]、[5: 転送無し&lt;切断&gt;]、[6: 転送無し&lt;着信&gt;]から選択します。</li> </ul>

検索して電話をかける				
サービスメニューを使う	1 待受状態で  を押す	2  で [2: 電話帳] を選び、 を押す <<メニュー>> <input type="checkbox"/> 履歴(発信/着信) <input checked="" type="checkbox"/> 電話帳 <input type="checkbox"/> 内線一覧	3  で [3: 番号検索] を選び、 を押す <<電話帳>> <input type="checkbox"/> 新規登録 <input type="checkbox"/> 一覧表示 <input checked="" type="checkbox"/> 番号検索	4  で [1: 共通電話帳] を選び、 を押す <<電話帳指定>> <input checked="" type="checkbox"/> 共通電話帳 <input type="checkbox"/> 個別電話帳
	5 [2: カナ検索] を選び、 を押す <<共通-電話帳検索>> <input type="checkbox"/> XFL No 検索 <input checked="" type="checkbox"/> カナ検索	6 検索する名前のフリガナを入力して  を押す <<共通-カナ検索>> <半> <双> <input type="checkbox"/> 短縮: 入力モード切替	7 検索結果から  で相手を選び、 を押す <<共通電話帳一覧>> 0011: 鈴木一郎 0012: 田中携帯 0002: 支社	8  で [1: 発信] を選び、 を押したあと、 を押す <<共通-電話帳>> No:0011 鈴木一郎 <input checked="" type="checkbox"/> 発信 <input type="checkbox"/> 184 発信
<ul style="list-style-type: none"> <li>手順4で[2: 個別電話帳]を選択することもできます。</li> <li>メモリ番号から検索する場合は、手順5で[1: XFL No 検索]を選択したあと、登録されているメモリ番号を入力してください。</li> <li>待受状態で  を押すと手順6の&lt;&lt;共通-カナ検索&gt;&gt;画面が表示されます。フリガナは1~5文字で入力します。</li> </ul>				
短縮ダイヤルを使う	1  のあと、 <input type="checkbox"/> を押す	2 メモリ番号を入力する <<共通-XFL No 発信>> 001 <input checked="" type="checkbox"/> 個別切替 <input type="checkbox"/> リダイヤル	3 かけたい相手が選択されていることを確認して、 <input type="checkbox"/> を押す <<共通電話帳一覧>> 0011: 鈴木一郎 0012: 田中携帯 0002: 支社	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>複数の電話番号が登録されている場合は、1つの電話番号を選択してから発信します。</li> </ul>			

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です)

お買い上げ日	年 月 日	品番
販売店名	電話 ( ) -	
お近くの販売会社	電話 ( ) -	

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は、まずお買い上げの販売店へお申し付けください。